

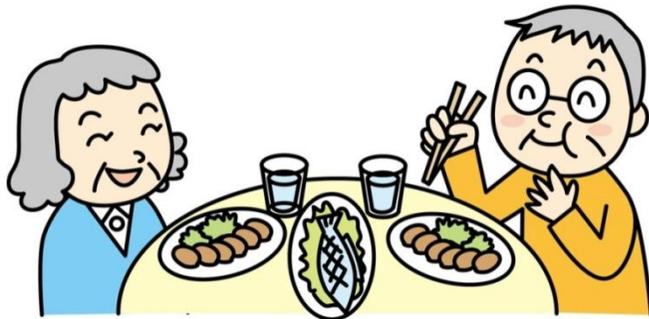
## 口は健康のもと Vol.205

### 「口腔機能低下症」にご用心

「食べることについての安定性：食力（しょくりき）」を支える要因として「社会性」、「多病」、「栄養状態」、「筋肉量」そして「口腔機能」が大きく関わっています。特に「栄養面」からは、「個食」が発端となり、食に関わる「口腔機能」の低下を生じます。「オーラルフレイル」といわれる状態です。この状態が、「健康」から「前虚弱（プレ・フレイル）」への境界時期に認められます。この時期の適切な対応で健康を回復できますが、放置すると身体的な衰えの進行から「虚弱（フレイル）」に陥り、要介護の状態に近づいてまいります。

このような「衰えの進行の流れ」にあって、口の機能の低下が全身の変化の初期症状として現れることに注目が集まっています。健康な状態から前虚弱への移行を、口腔機能の変化で捉えることができるからです。このような発想から、直近では「口腔機能低下症」という新しい病名が発案され、「低舌圧」、「咀嚼機能低下」、「嚥下機能低下」などの検査を歯科診療所で行い、口腔機能の低下を診断することができるようになりました。

「全身の衰え」防止のため、虫歯や歯槽膿漏のみならず「口腔機能低下症」について理解を深めてまいりましょう。



奥羽大学歯学部附属病院

総合歯科 教授 関根 秀志

